

平成23年度 リサーチウィークス

期間：平成24年2月・3月



■ オープニングレクチャー (P.1 参照)

開催日時：平成24年2月22日(水) 13:00～14:50

開催場所：120-3C 講義室 (120周年記念館3階)

講演者：宮本康司 環境教育学科講師，三浦正江 心理カウンセリング学科准教授

■ FDフォーラム (P.2 参照)

開催日時：平成24年2月24日(金) 13:00～14:50

開催場所：120-3C 講義室 (120周年記念館3階)

内容：平成23年度 東京家政大学FDフォーラム 新しいチャレンジ ～進捗と展望～

■ ポスターセッション (P.4-5 参照)

開催日時：平成24年2月21日(火)～3月1日(木) 9:00～17:00

(但し、2月24日(金)は15:00まで。土日は開催いたしません。)

開催場所：多目的ホール (120周年記念館1階)

参加部署：リサーチウィークス ポスターセッション参加一覧

■ その他 研究発表等 (P.3 参照)

開催日時等：リサーチウィークス 研究発表会等日程

リサーチウィークスの開催にあたって

文学部長兼人文学部長 新井哲男

平成 24 年 2 月 9 日

本学の教育と研究の質の向上を目指し、教員と職員が協働して大学活性化につなげる場にしたいとの思いから始まったリサーチウィークスも 3 年目を迎えました。今年度は、オープニング・レクチャーとして、家政学部及び文学部・人文学部より、新進気鋭の若手の先生方にご講演をお願いいたしました。かたぐるしい研究発表ではなく、先生方のお仕事に関連した題目で素人にも気楽に聞けるご講演をとお願い致しました。学年末や入試等でお忙しい時期とは思いますが、教員、職員一堂に会して、ひと時の刺激的なリフレッシュ・タイムをいただければ幸いです。どうぞ奮ってご参加ください。

また、リサーチウィークス期間には、裏面記載の FD フォーラムや、ポスター・セッション、教員研究成果発表会等をはじめ、さまざまな教育・研究活動の成果発表が各機関で予定されております。こちらの方にも、ふるってご参加ください。

オープニングレクチャー **《日時》平成 24 年 2 月 22 日(水) 13:00~14:50**
《場所》120-3C 講義室 (120 周年記念館3階)

① 13:00~13:55 (質疑応答時間含む)

「『生態学』が暮らしにもたらす知」

宮本康司 環境教育学科講師

環境要因と生物群集との関連を解明する「生態学」は、自然科学分野に位置付けられる。しかし環境生態系研究室では、生態学研究に加えてそれが人間の暮らしを向上させる観点からも研究を進めており、2 例を紹介する。まず「都市環境」に関する研究では、都市河川に大発生して害を成す“カ”に対する非接触計数法を開発し、時空間行動パターンを東京工業大学のチームと解析している。また「教育」に関する研究では、JTB との共同研究である“旅いく”（環境教育）プログラム群の構築を進めており、その基盤となる“未就学児と保護者の旅いく版生きる力尺度”を策定した。

② 13:55~14:50 (質疑応答時間含む)

「児童生徒の学校ストレス」

三浦正江 心理カウンセリング学科准教授

不登校やいじめをはじめとした学校不適応の原因の一つとして、児童生徒が学校生活で経験するストレスがあげられる。そのため、これまで児童生徒の学校ストレスのメカニズムやストレス耐性を高めるための教育プログラムに関する検討が数多く行われてきた。

しかし一方で、学校はストレス一色というわけではなく、児童生徒が喜び、楽しみ、達成などポジティブな体験をする場でもあり、近年はこのような視点からの研究も行われつつある。そこで今回は、児童生徒の学校ストレスに関する調査・実践研究と学校のポジティブな側面に着目した研究について紹介する。

平成 23 年度 東京家政大学 FD フォーラム

新しいチャレンジ ～進捗と展望～

平成 22 年度に人間力育成を目的とした全学共通教育科目、及び教職課程を履修する学生に対するきめ細かい指導の一環として教職 e ポートフォリオがスタートしてから、この 3 月で 2 年を経過する。どちらも東京家政大学の教育をさらに充実させるために、慎重に計画され実施に移されたものである。しかし、新しい試みにはさまざまな困難が伴う。意図通りの効果をあげていくためには、今後、より多くの教員の更なる理解と協力が必要となろう。本年度の東京家政大学 FD フォーラムは、共通教育および教員養成教育の両推進室室長から、ここまでの進捗状況とこれからの展望についてご報告いただく。

《日時》平成 24 年 2 月 24 日(金) 13:00～14:50

《場所》120-3C 講義室 (120 周年記念館 3 階)

司会：新井哲男 文学部長兼人文学部長

13:00～13:50 全学共通教育のあゆみと対策

宮内正厚 共通教育推進室長

長期間にわたり「人間教育開発部門会議」において共通教育のありかたについて検討を重ねてきた結果、平成 20 年度末にその方向性と内容が示されました。それを受けて新しい共通教育を具体化し、実施することを任務として共通教育推進室が平成 21 年度に発足しました。22 年度にカリキュラムを構築・実施し、23 年度において 2 年目の授業も終了し、3 度目の全学共通教育を実施しようとしているところです。

その間、可能な限りの改革・改善を行ってきました。あらためてこの 3 年間の経緯を報告し、その成果を分析して、今後の発展の基礎を構築していく必要があります。そのためには教職員各位の建設的な考えを頂戴し、またご理解いただき、よりよい成果を上げていくことが学生にとって何よりも大切であろうと思います。これらを念頭において総合的に報告します。

13:50～14:40 e ポートフォリオを活用した教員養成の試み

～コメント入力をおとした教員のフィードバック

青木幸子 教員養成教育推進室長

ポートフォリオは、学生自身が目標を設定し、学びや気づきを記録し、蓄積した履歴を振り返ることで、達成度を確認し、自らの学びの方向性を考えるのに役立つものです。さらに、教員がその達成度を確認するなかで、学生に対するフィードバックとしてコメント入力を行うことにより、助言・指導等の支援をおこなうことができます。本学の教職課程（※児童学科を除く）では、平成 22 年度より教職 e ポートフォリオを導入し、学生の達成度に対して、教員からのフィードバック（＝コメント入力）を実施しています。来年度からは、このコメント入力を、学生の所属学科・科の先生方に担当していただく予定です。そこで、まず、教職 e ポートフォリオの現況についてご報告いただき、次に、すでにコメント入力を経験された 4 名の先生方より、コメント作成のポイント、苦労談、今後の活用可能性についてご発言いただき、質疑応答を交えながら、学生へのフィードバックの方法に関して理解を深めていきます。

I. 教職 e ポートフォリオの活用

渡部晃正 児童学科准教授

II. パネルディスカッション「コメント入力をおとした教員のフィードバック」

パネリスト：半澤嘉博 児童教育学科准教授

二川正浩 環境教育学科准教授

塩入輝恵 栄養科講師

平川俊功 心理カウンセリング学科准教授

コーディネーター：青木幸子 教員養成教育推進室長・栄養科教授

14:40～14:50 質疑応答

リサーチウィークス 研究発表会等日程

月日	曜日	リサーチウィークス関連 研究発表会等
2月 1日	水	(環教) 吉原ゼミ卒業研究発表会
2月 2日	木	
2月 3日	金	
2月 4日	土	(服美) 卒業研究発表会
2月 5日	日	(服美) 卒業製作ファッションショー <多目的ホール>
2月 6日	月	
2月 7日	火	
2月 8日	水	
2月 9日	木	
2月10日	金	(栄養) 卒業論文発表会 10:00～ <120-2C> (環教) 宮本ゼミ卒業研究発表会
2月11日	土	
2月12日	日	
2月13日	月	
2月14日	火	
2月15日	水	↑(表現) 卒業制作展 <北とびあ> 2/15～2/21
2月16日	木	(文院) 修士論文発表会
2月17日	金	
2月18日	土	
2月19日	日	
2月20日	月	(家院) 博士論文公开发表会
2月21日	火	↓(家院) 修士論文発表会 ポスターセッション <多目的ホール> 2/21～3/1
2月22日	水	オープニングレクチャー 13:00～14:50 <120-3C>
2月23日	木	
2月24日	金	フォーラム 13:00～14:50 <120-3C>
2月25日	土	(服美) 学科・科内教員研究発表会 10:00～ <120-3D> (心カ) 相馬ゼミ卒論等発表会 13:00～
2月26日	日	
2月27日	月	ポスターセッション <多目的ホール>
2月28日	火	
2月29日	水	

↓
3/1(木)

※ポスターセッション期間：2/21(火)～3/1(木)9:00～17:00
但し、2/24(金)は15:00まで。土日は開催しません。

※研究発表会等の詳細については、各学科・科、部署にお問合せください。

月日	曜日	リサーチウィークス関連 研究発表会等
3月 1日	木	教員研究成果発表会 ポスターセッション <多目的ホール>
3月 2日	金	
3月 3日	土	
3月 4日	日	
3月 5日	月	
3月 6日	火	
3月 7日	水	
3月 8日	木	
3月 9日	金	
3月10日	土	
3月11日	日	
3月12日	月	
3月13日	火	
3月14日	水	
3月15日	木	
3月16日	金	
3月17日	土	
3月18日	日	
3月19日	月	
3月20日	火	
3月21日	水	
3月22日	木	
3月23日	金	
3月24日	土	
3月25日	日	
3月26日	月	↑(表現) 助教研究発表・展示会 <7号館1階ロビー> 3/26～4/7
3月27日	火	
3月28日	水	
3月29日	木	
3月30日	金	
3月31日	土	

↓
4/7(土)

リサーチウィークス

ポスターセッション参加一覧 【教員部門】

所属		担当者	参加内容
1	附属女子中学校	中村美穂 河野 恵	平成 23 年度「いたばし まちの環境発表会」でポスター展示したもの。 1.石神井川(加賀橋)と家政ビオトープ池の水質調査 I (中学・理科部) 2.バタフライ・ガーデン II (中学・園芸ビオトープ同好会)
2	生活科学研究所	高野綾子	生活科学研究所で行っている総合研究プロジェクト、産学連携(白藤プロジェクト、小松市・加賀市等の連携事業、オープンラボ(共同研究))、レクチャーフォーラム、生活をテーマとする研究・作品コンクール等の成果発表
3	大学院 家政学研究所	長尾慶子	(1)久松裕子他:調理性・嗜好性および省エネルギーの面から検討した干し野菜の調整条件 (2)三神彩子他:江戸時代および現代料理とエコ・クッキングとの比較 (3)三神彩子他:調理の習熟度の効果とエコ・クッキング教育効果の比較
4	大学院 被服造形学専攻	飯塚堯介 宮本裕子	繊維廃材から繊維を回収・再利用するマテリアルリサイクルのためには、繊維廃材の個々の成分を、再利用可能な状態で分離することが必要である。本研究では、綿・ポリエステル混紡布からの成分分離を、各種の方法によって検討したので報告する。
5	栄養学科	宇和川小百合 色川木綿子	日本調理科学会 平成 23 年度大会で発表したポスターの掲示 第 58 回日本栄養改善学会学術総会で発表したポスターの掲示
6	栄養学科	武田純枝	1952 年、慶応義塾大学老年科と食養科のグループは、100kcal を単位とし、脂肪酸、コレステロール中心の高脂血症対応とした食品交換表(ダイエット・ガイド)を発表した。現在、生活習慣病予防・改善のためにより進化した 100kcal の食品交換表をリニューアルしているので紹介したい。
7	栄養学科	森田幸雄	今年発表の論文等の展示
8	栄養学科	佐藤久美	”にがり”を添加したゲル状食品の力学的特性:佐藤久美・長尾慶子
9	栄養科	青木幸子	『男女平等を考える教育カルタ』を活用した世代別女性のジェンダー意識の比較 日本家庭科教育学会平成 21・22・23 年度大会での発表内容の要旨
10	栄養科	葛城千紗	介護療養型医療施設に入院している高齢者の栄養状態、ADL、SDS について (XI ASIAN CONGRESS OF NUTRITION 2011 にて発表)
11	栄養科	関目綾子	第 42 回日本消化吸収学会総会にて発表した研究のポスター展示
12	服飾美術学科	倉みゆき	服飾美術学科学生の衣服製作についての一考察と題して、23 年度の 2・3・4 年生の専門の授業でアンケートを取った結果及び考察
13	服飾美術学科	寺田恭子	「服飾美術学科卒業研究ファッションショー」 豊かでのびやかな人間性の育成を目指し、本学創設以来の伝統である実践教育の一環として、卒業研究における作品をファッションショー形式で発表を積み重ねてきました。4 年間で得た知識・技術の集大成として学生一人一人がこだわりを持って創り上げました。
14	服飾美術学科	長塚こずえ 岸なつき	衣服製作時に行う身体計測を指導する際、どのような事に留意すべきか、ウエスト原型の製作・補正を行う課程で調査した。
15	服飾美術学科	山田民子	『アパレル製品の製作と販売』 売ることを目的としたもの創り等実践的な教育を行っている。 『アパレル生産実習』の授業を中心とする関連の授業の中で学生が自ら商品企画・設計・生産・商品としての販売までを一貫として体験する場を設けることを目的としている。
16	服飾美術科	桃木美恵 小林泰子 石田恭嗣 石久保鈴子 知野恵子 田中早苗 大塚有里	ファッションショーに出品したデザイン画の展示と、DVD 放映 平成 23 年度 服飾美術科 第 9 回ファッションショー開催にあたり、学科強化費予算を使用致しました。舞台設営の一部及び専門家による照明操作指導、DVD 作成費用に充当しました。平成 22 年度入学生より募集停止となり、最後のショーとなりました。
17	服飾美術科	小林泰子 小島麻希甫	「反応染料で媒染染色したメリヤス綿布の消臭性」について発表
18	環境教育学科	藤森文啓	食用キノコであるマイタケの全ゲノム解読を完了し、産業上有用なデータベースが構築された。これらのデータベースから、食への応用、エネルギー応用、環境応用、医学応用と広い応用転換ができるようになった。今度はデータ活用の転開へと進む。
19	環境教育学科	松木孝幸 菅野ももこ	データベースを活用した文献のキーワード検索と経年変化
20	環境教育学科	村上和雄	家庭排水浄化システムの開発
21	環境教育学科	吉原富子	茶葉中フッ素の定量 (第 78 回日本分析化学有機微量分析研究懇談会・第 86 回計測自動制御学会力学量計測部会・第 28 回合同シンポジウムにおいて発表)

所属	担当者	参加内容
22	造形表現学科 大木敦子	「コーデュロイ構造のタペストリー制作とその展開」 研究内容の発表と作品写真の展示
23	英語コミュニケーション学科 小林絢子	ゼミでとりあげたチョーサー作「カンタベリー物語」に登場する巡礼達の職業・人柄・服装その他の特徴を Ellesmere 写本の肖像画と共に紹介する。 また、中世英文学が主として昔話の翻案から成立したことを示すために各巡礼の提供した物語のあらすじも記した。
24	心理カウンセリング学科 西村純一	「家政大卒業生は、初職を3年以内に3割辞めるか」(仮タイトル) 3年以内に初職を辞める割合は、中卒で7割、高卒で5割、大卒で3割にのぼり、7・5・3と呼ばれている。家政大卒業生はどうであろうか、平成23年度3月の調査結果について検討する。
25	心理カウンセリング学科 細田幸子	ストレスマネジメント行動の習慣化に関する研究(人間文化研究所学内プロジェクト研究推進費の助成による)の成果発表

リサーチウィークス ポスターセッション参加一覧 【事務部門】

部署	参加内容
1 東京家政大学 学寮	学寮における寮生の生活と年間行事等の紹介展示
2 総務部 総務課	学生の通学路マナーの現状と近隣住民・一般の方からの苦情対策の取り組みについて
3 財務部 管財課	大学内に掲示した、省エネルギー対策を呼びかけるポスターやシールの展示
4 プロジェクト推進室	プロジェクト推進室の活動報告(平成23年度を振り返って)
5 地域連携協力推進センター	平成23年度 東京家政大学狭山校舎 前期・後期開講講座等の発表
6 生涯学習センター	平成23年度 生涯学習センターの活動報告および公開講座の内容紹介
7 ヒューマンライフ支援センター	ヒューマンライフ支援センターの活動は、学科・科を越えて、学生の発想した企画を実行できるよう支援することです。 また、官・学・産の連携事業に大学が培ってきた知的財産を活用し参加支援することです。 活動成果の展示及び配布物で参加します。
8 保健センター	平成23年度 保健センター活動報告
9 臨床相談センター	1.中絶ケースの内容についての検討 2.実習生によるケース事例研究発表
10 教育・学生支援センター 学生支援課	平成23年度 学生生活支援行事報告
11 進路支援センター	補助金を受けて実施している「就業力育成事業」及び学生への就職支援状況の紹介
12 進路支援センター 他	「女性を育てる本学の教えと心をつなぐ卒業生」 創立時の卒業生は女子教育・裁縫教育への高い志を持って入学し、苦学しながら職業人として自立する力を身につけた。辰五郎先生から受けた教育を「次の女性育て」に生かそうと努力した卒業生を紹介する。
13 博物館	博物館活動の報告「企画展について」 博物館は常設展の他に年2回の企画展を開催しています。企画展が開催されるまでのプロセスを秋の企画展「グアテマラ民族衣装」を通して紹介します。
14 図書館	平成23年度 図書館活動の分析と報告 1.学術情報リテラシー教育支援の動向と支援状況 2.東京家政大学機関リポジトリ公開状況と今後の予定 3.平成23年度の特徴的な図書館活動報告 :多目的室設置、別館活用促進事業、「東京家政大生に薦める100冊の本」について